

1 [2016 近畿大]

n を $n \geq 2$ である自然数としたとき

$S_n = 1 \cdot (n-1)^2 + 2 \cdot (n-2)^2 + 3 \cdot (n-3)^2 + \cdots + (n-2) \cdot 2^2 + (n-1) \cdot 1^2$ とおく。する

と $S_n = \frac{\text{ア}}{\text{イ}} n^4 - \frac{\text{ウ}}{\text{エ}} n^2$ である。

2 [1999 浜松医科大]

連続する m 個の奇数 $1, 3, 5, \dots, 2m-1$ の中から、異なる 2 つの数をとって積を作る。こうして得られる ${}_m C_2$ 通りの積すべての総和を求めよ。

3 [2016 明治大]

$\sum_{k=1}^{20} \frac{1}{k(k+1)(k+2)}$ の値は $\frac{\text{ア}}{\text{イ}}$ である。

4 [2011 神戸薬科大]

$S = \sum_{n=1}^{18} (-1)^n \log_{10}(n+1)(n+2)$ の値を計算せよ。

5 [2014 中央大]

$S_n = 1 + 2 \cdot \frac{1}{3} + 3 \left(\frac{1}{3} \right)^2 + 4 \left(\frac{1}{3} \right)^3 + \cdots + n \left(\frac{1}{3} \right)^{n-1}$ を n の式で表せ。

6 [2015 横浜市立大]

数列の和 $\sum_{j=1}^n j^2 2^{n-j}$ を求めよ。

7 [2003 佐賀大]

次の数列 $\{a_n\}$ の一般項を以下の手順で求めよ。

1, 2, 4, 10, 23, 46, 82, 134, \dots

- (1) 数列 $\{a_n\}$ の階差数列を $\{b_n\}$ とする。 b_1, b_2, b_3, b_4, b_5 を求めよ。
- (2) 数列 $\{b_n\}$ の階差数列は等差数列である。数列 $\{b_n\}$ の一般項を求めよ。
- (3) (2) の結果を用いて、数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

8 [2001 同志社大]

数列 $\frac{1}{1}, \frac{1}{2}, \frac{3}{2}, \frac{1}{3}, \frac{3}{3}, \frac{5}{3}, \frac{1}{4}, \frac{3}{4}, \frac{5}{4}, \frac{7}{4}, \frac{1}{5}, \dots$ について

- (1) この数列の第 29 項を求めよ.
- (2) この数列の 第 800 項を求めよ.
- (3) この数列の初項から第 800 項までの和を求めよ.

9 [2010 中央大]

xy 平面で、次の不等式の表す領域を D とする。

$$D : |x| + 2|y| \leq 60$$

- (1) D を xy 平面上に図示せよ.
- (2) 次の条件を満たす整数の組 (m, n) の個数を求めよ.

$$m + 2n \leq 60, m \geq 1, n \geq 1$$

- (3) D に含まれる整数の組 (m, n) の個数を求めよ.

10 [2012 横浜国立大]

- (1) k を 0 以上の整数とするととき、

$$\frac{x}{3} + \frac{y}{2} \leq k$$

を満たす 0 以上の整数 x, y の組 (x, y) の個数を a_k とする。 a_k を k の式で表せ。

- (2) n を 0 以上の整数とするととき、

$$\frac{x}{3} + \frac{y}{2} + z \leq n$$

を満たす 0 以上の整数 x, y, z の組 (x, y, z) の個数を b_n とする。 b_n を n の式で表せ。

11 [2016 慶応義塾大]

自然数 n に対して $m \leq \log_2 n < m+1$ を満たす整数 m を a_n で表すことにする。このと

き $a_{2016} = \text{ア}$ である。また、自然数 k に対して $a_n = k$ を満たす n は全部で

イ 個あり、そのような n のうちで最大のものは $n = \text{ウ}$ である。更に、

$\sum_{n=1}^{2016} a_n = \text{エ}$ である。